

2025年度金沢大学公式海外派遣プログラム

ユネスコエコパーク文化交流プログラム 募集説明会

夏：8-9月 インド・フィンランド・トルコ

春：2-3月 ドイツ・フランス・フィンランド、アメリカ

2025年10月15日（水）

本日の流れ

- ◆担当教員挨拶/プログラム紹介

ママードウア アイーダ

(国際日本研究教育センター)

- ◆申込方法・今後の流れ

スタンデージ 真理子

(国際部留学企画課留学推進担当)

- ◆質疑応答

プログラム目的

ユネスコ登録地域

- ユネスコエコパーク（生物圏保存地域 BR Biosphere Reserve）
- ジオパーク（GP, Geopark）
- 世界遺産（WH, World Heritage Sites）

これらのフィールドを通じて、**大学や地域社会/集落と連携しながらSDGsを学び、**グローバル社会課題の解決に貢献できる人材として基礎を身につける。

プログラム概要

実施期間：

ドイツ 2026年3月18日～ 3月25日

フランス 2026年2月23日～ 3月4日

フィンランド 2026年3月9日～ 3月18日

米国 2026年3月3日～3月12日

募集人数：15名 ※最少催行人数（10名）に達しない場合は実施されません。

対象学生：全学域・全研究科所属の正規学生

滞在形態：ホテル (Airbnb) 2名1室 または 1名1室

ドイツプログラム内容

2026年3月18日～ 3月25日

- Eberswalde 大学 訪問
- チョーリンエコパーク
(Schorfheide-Chorin BR)
- 地元コミュニティと交流
- 環境保全・持続可能な開発を学ぶ
- 学生交流

参加費 15万、JASSO11万



ドイツ Eberswalde

エーベルスヴァルデ

ベルリンの北東約50kmに位置する人口約4万人の小都市。

「森の町」として知られ、豊かな自然環境と林業・環境保全の伝統を持つ。かつて産業の町として発展した歴史を持ちながら、現在は持続可能性と地域資源を活かした街づくりで注目されている。

エーベルスヴァルデ応用科学大学（HNEE）

ヨーロッパでも数少ない「持続可能な開発」に特化した大学。

林業、環境保全、持続可能な観光、地域開発などを専門とし、実践的な教育と地域連携を重視している。

キャンパスは小規模ながら国際性が高く、学生は地域社会や自然環境と密接に関わりながら学ぶことができる。



Eberswalde University
for Sustainable
Development

Schorfheide-Chorin BR

ユネスコ生物圏保存地域に指定されている広大な森林地帯。
貴重な湿地や湖、ビーバーや鷺などの野生動物が生息する。
林業、農業、観光が持続可能な形で共存する地域モデル。

学生アクティビティ（4ポイント）

サステナビリティをテーマにしたキャンパスツアーに参加する。
学生や教授と交流し、持続可能な開発の研究事例を学ぶ。
ワークショップで地域資源や森林の活用について議論する。
国際的な視点からサステナビリティの未来を考える。



フランス プログラム内容

2026年2月23日～ 3月4日

- Toulous Paul Sabatie (トゥールーズ 第3大学ポール・サバティエ) 大学 訪問
- Dordogne (ドルドーニュ) エコパークで滞在
- 地元コミュニティと交流
- 地域課題を学ぶ
- 学生交流・フランスの歴史・社会・文化に触れる

参加費15万、JASSO 11万



トゥールーズ第3大学ポール・サバティエ

トゥールーズ

- フランス南西部に位置し、人口は約50万人、フランス第4の大都市。
- エアバス社など航空宇宙産業の拠点であり、1229年創設のトゥールーズ大学を中心に約13万人の学生を擁する学問・研究都市でもある。
- 赤レンガの街並みにより「バラ色の街」と呼ばれる。



大学概要

- 学生数約37,000人の国立大学
- 世界で最も古い歴史を持つ大学の一つ
- 理工系、医学、スポーツ科学の学部がある
- MABの修士課程がある



ドルドーニュ川流域ユネスコエコパーク

- 流域の面積は 24,000 km² で、人口は 100 万人以上。
- フランスの中心部を流れ、この地域に重要な生態系サービスを提供する。
- 生物多様性においてフランス国内、ヨーロッパ内で注目されている。
- 過去50年間で流域の農村地域が農地やレクリエーション空間に変貌し、空間的、社会的再編がもたらされた。
- フランスの最も美しい村が集中している地域としても知られる。

訪問先での体験、学習内容

- BR内住民との交流
- 河川生態系再生
- 文化的/歴史的遺産
- 生物多様性
- 水力発電
- ラスコ洞窟訪問（世界遺産）
- 地域のフランス料理

※具体的な訪問先は調整中。



フィンランドプログラム内容

2026年3月9日～ 3月18日

- フィンランド・Oulu大学 訪問
- フィンランドのジオパークを訪問、
- Rokuaジオパーク内滞在
- 地元コミュニティと交流
- 気候変動に対する課題を学ぶ
- 学生交流

参加費 19万、JASSO11万



フィンランド共和国 オウル Oulu

フィンランド第五の都市で人口は約21万人。

北極圏に近いオウル川河口に位置し、19世紀にはタール貿易で繁栄した歴史を持つ。

現在はIT・バイオ・医療など先端技術産業と大学を中心とする学術都市として発展し、美しい自然と活気ある文化・音楽イベントが融合する都市として知られている。

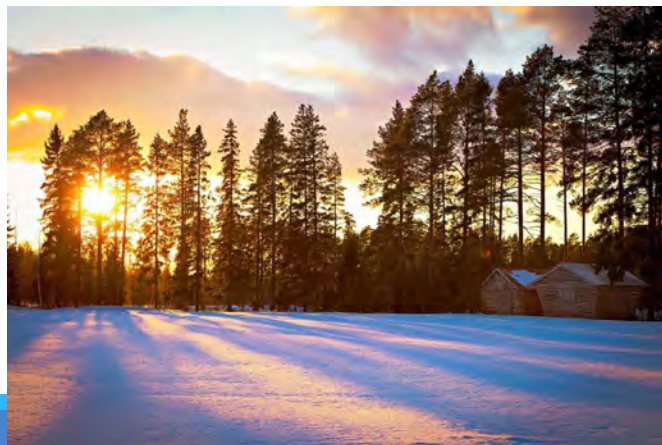


Rokua UNESCO Geopark

フィンランド初のユネスコ世界ジオパークで、オウル市から約80kmに位置する。

氷河の作用で形成された砂丘やエスカー、清らかな湖が織りなす独特の景観が広がる地域。

人々の暮らしと自然が共生し、ハイキングやサイクリング、湖でのアクティビティを通じて地質遺産と豊かな自然を体感できる場所として知られている。



米国プログラム コロラド州

2026年3月3日～ 3月18日

- コロラド大学コロラドスプリングズ校（UCCS）訪問——
- ロッキー山脈など ハイキング
- 地元コミュニティと交流
- 学生交流
- アメリカの文化体験

参加費 800 \$、JASSO11万



コロラドスプリングズ

アメリカ西部に位置し、ロッキー山脈と広大な平原が交差する自然豊かな州。

標高の高い山岳地帯、砂丘、化石林、温泉など多彩な自然景観が広がり、国立公園や州立公園を通じて自然と人間社会の関わりを学ぶことができる。

州内有数の都市コロラドスプリングズにはコロラド大学コロラドスプリングズ校（UCCS）があり、環境・保全・地理などの分野で実践的な教育と地域連携活動が盛んに行われている。

キャンパス体験に加え、ガーデン・オブ・ザ・ゴッズやフロリッサント化石林国立公園、グレートサンドデューンズ国立公園など、多彩な訪問先を通じて自然と文化のつながりを深く学ぶことができる。



コロラドスプリングズ

❖ ガーデン・オブ・ザ・ゴッズ (Garden of the Gods)

赤い奇岩群の壮大な景観をハイキングで巡る。

❖ フロリッサント化石林国立公園 (Florissant Fossil Beds National Monument)

数百万年前の植物や昆虫の化石を観察する。

❖ ミューラー州立公園 (Mueller State Park)

ロッキー山脈の大自然をハイキング (スノーシュー体験)

❖ マニトウ・スプリングス (Manitou Springs)

湧き出る天然の炭酸泉を体験する。

❖ サライダ (Salida)

温泉に入りながらリラックスする。山間の小さな町を散策

❖ グレートサンドデューンズ国立公園 (Great Sand Dunes National Park)

北米最大の砂丘を歩いて冒険する。



単位付与

2単位

共通教育GS科目『4D異文化体験』

または

国際学類専門科目『異文化体験実習Ⅰ（海外）』

※2026年3月卒業/修了予定者は履修登録はできません。

①事前学習、②事後報告書提出、③事後学習、により本学教員が評価します。

※履修登録後に参加を取り消した場合は「放棄」となります。

参加要件

- TOEIC 500点以上取得していることが望ましい。
- 有効（残存期間が入国日より6か月以上）なパスポートを所持していること。

※申込時点で提出可能な場合で構いません

申込期間

10月30日（木）（〆切）

- 選考により参加者を決定します。
- 最少催行人数(10人)に満たない場合には開講されません。
- 参加誓約書には本人と保証人の署名(入力)が必要です。
保証人の了承を得てから申し込んでください。

申込方法



1. 提出書類様式をダウンロード

LMSコース「【提出書類様式】ユネスコ研修（ドイツ、アメリカ、フィンランド、フランス）」から様式をダウンロードしてください。

- 1 金沢大学公式海外派遣プログラム参加誓約書
- 2 健康状態に関する自己申告書
- 3 有効なパスポートのコピー（顔写真があるページ）※申込時点で提出できない場合は、参加決定次第提出してください

2. 申込フォームから応募

LMSコース「【参加申込フォーム】ユネスコ研修（ドイツ、アメリカ、フィンランド、フランス）」から申し込んでください。

【LMSコースURL】

https://lms-wc.el.kanazawa-u.ac.jp/webclass/login.php?group_id=f5b3950772e7f139a4239b48677583b1&auth_mode=SHIB

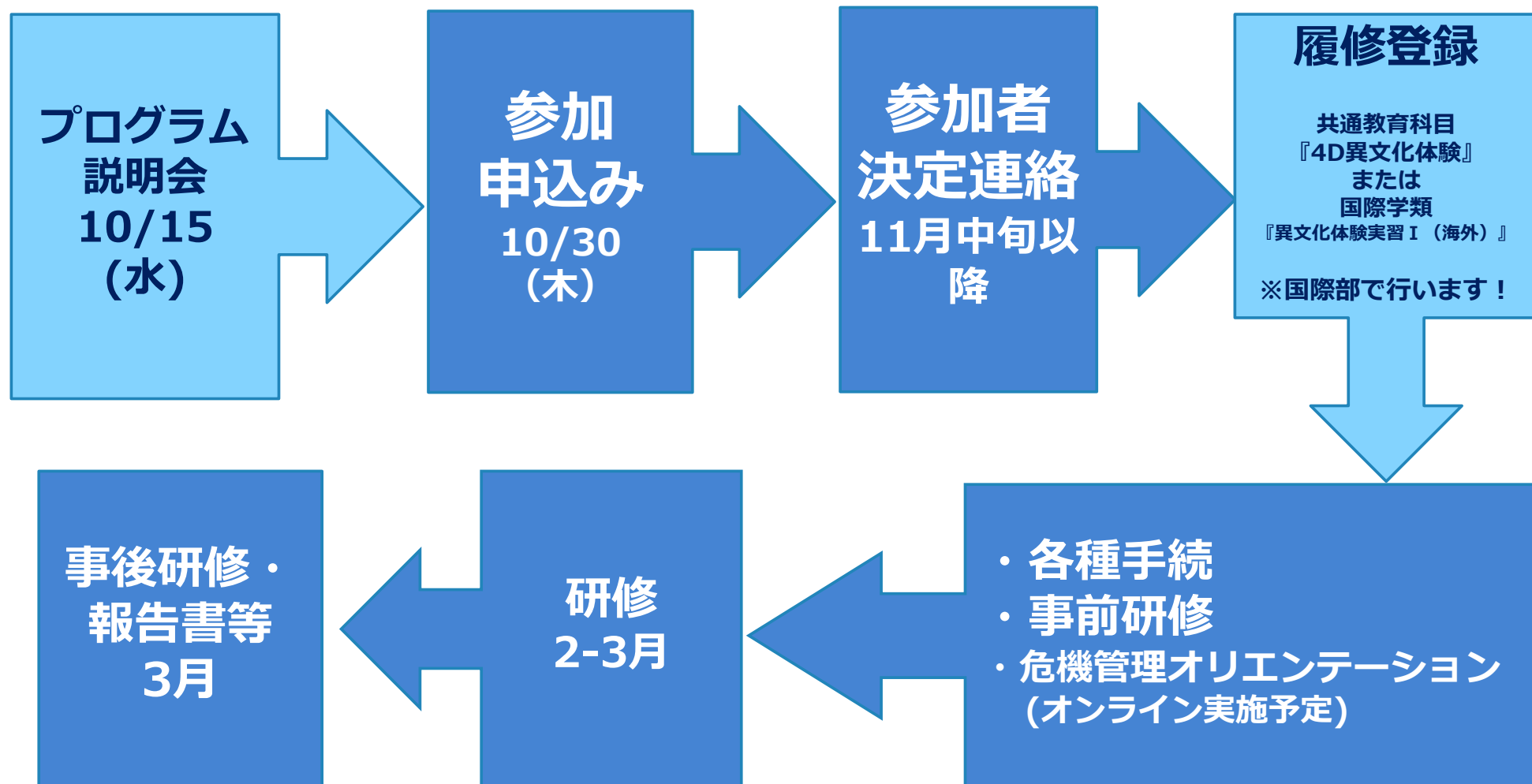
注意事項①

- 事前、事後学習、全学危機管理オリエンテーションへの参加が必須です。
- プログラム参加には心身ともに健康状態が良好であることが前提です。
- 現在治療中の病気だけでなく、心や身体の健康面で心配なことがあれば、主治医等に留学が可能であることを確認し、指導を受けてください。
- 研修に関わる連絡は、申込フォームに入力されたメールアドレスに送信します。申込後は毎日チェックして、返信や必要な対応をしてください。
- 書類の提出期限は厳守してください。参加者全員の書類が揃った後、手続き（履修登録・研修先への申込み・航空券の手配）を行います。

注意事項②

- 感染症（インフルエンザ・新型コロナウイルス等）の罹患により渡航できなくなった場合や、渡航中に罹患した場合の隔離等に伴い発生する費用は、自己負担となります。

今後の流れ



問い合わせ先

【プログラム内容について】 ※平日のみの対応となります

ママードウア アイーダ准教授

Eメール : mammadova@staff.kanazawa-u.ac.jp

【履修登録・JASSO奨学金について】 ※平日のみの対応となります

国際部留学企画課留学推進担当 藤原

(角間キャンパス本部棟3階)

Eメール : studyabroad@adm.kanazawa-u.ac.jp